

2026年6月18日  
 出光興産株式会社

## JAXA「宇宙戦略基金」の補助金交付が決定 宇宙用 CIGS 太陽電池の量産技術開発を加速

出光興産株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：酒井則明、以下「当社」）が、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（Japan Aerospace Exploration Agency、以下「JAXA」）の運営する「宇宙戦略基金<sup>※1</sup>」において、公募テーマ「衛星サプライチェーン構築のための衛星部品・コンポーネントの開発・実証」に提案した「[宇宙用 CIGS<sup>※2</sup> 太陽電池](#)の高効率化および量産技術開発（以下「本事業」）」が採択され、このたび本事業に対する補助金交付が正式に決定しました。

本事業では、最大 30 億円<sup>※3</sup>の補助金を活用し、宇宙用 CIGS 太陽電池の実証および量産化に向けた技術開発を進めます。なお、6月10日には、技術開発計画の確認などを目的としたキックオフミーティングを JAXA と共同で開催しました。

※1 宇宙戦略基金：日本の宇宙分野における民間企業や大学などの技術開発・事業化を中長期・継続的に支援するため JAXA に設立された基金。

※2 CIGS：Cu（銅）、In（インジウム）、Ga（ガリウム）、Se（セレン）の頭文字から成る化合物半導体。

※3 支援上限額。今後のステージゲート審査等により変動する可能性あり。



採択の盾（©JAXA）の贈呈

左：宇宙戦略基金 趙プログラムオフィサー補佐  
（千葉工業大学 教授）

右：当社 鈴木イノベーションセンター長

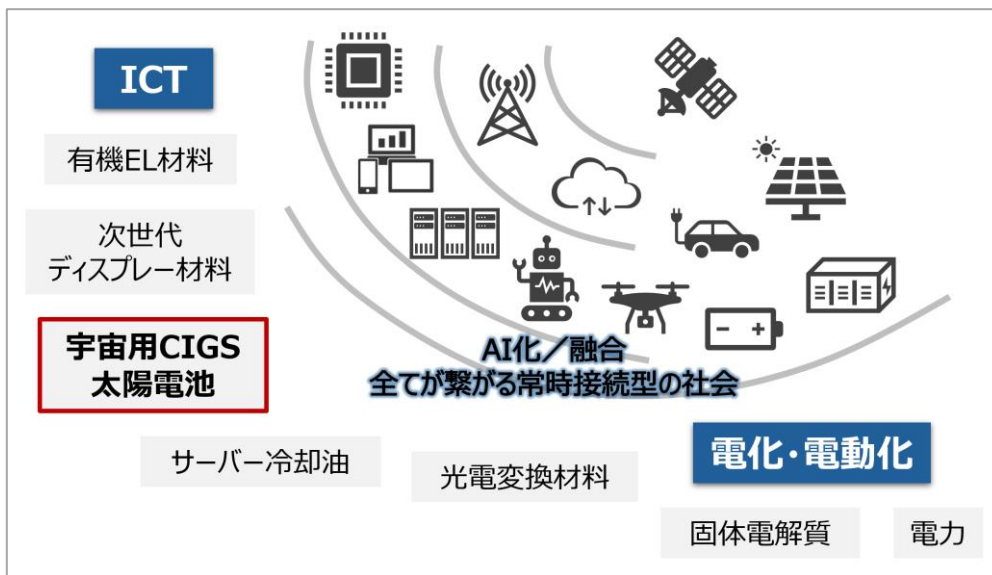


キックオフミーティング後の記念撮影

（当社次世代技術研究所にて）

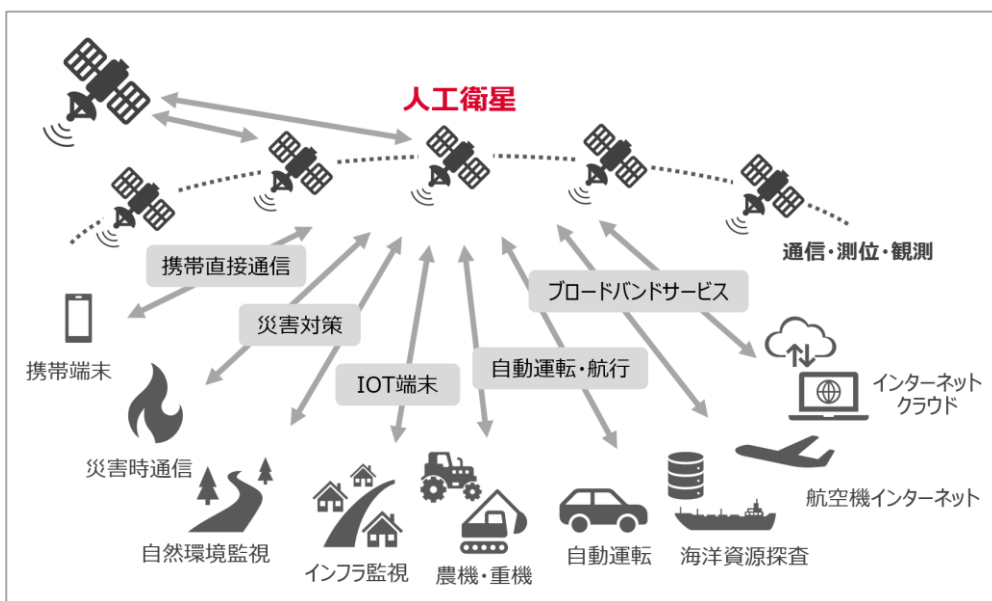
当社の[中期経営計画（2026-2030 年度）](#)では、電化・電動化／ICT 融合領域を成長分野の一つとして位置付け、その発展のカギとなる材料・ソリューションの展開を進めています。具体的には、有機 EL 材料や省電力・高速応答を実現する次世代ディスプレイ材料、データセンター向けのサーバー冷却油、高速通信を実現する光電変換材料、長寿命・

高出力・高い安全性が期待される全固体リチウムイオン二次電池用の固体電解質などの研究開発および事業化に取り組んでいます。



電化・電動化/ICT 融合領域における当社の技術開発テーマ

上記取り組みの一環として、当社は宇宙産業への事業展開を目指しています。IoT デバイスやコネクテッドモビリティの普及に伴い、通信ネットワークの整備が急速に進み、常時接続型の社会が到来しつつあります。こうした社会を支える人工衛星をはじめとする宇宙インフラの重要性は、今後さらに高まると見込まれています。宇宙インフラを支える基盤技術の一つが、人工衛星に電力を供給する太陽電池です。当社は、これまで培ってきた材料技術と薄膜技術（材料を極めて薄い層として形成する製造技術）を活かし、宇宙用 CIGS 太陽電池の開発を進めています。



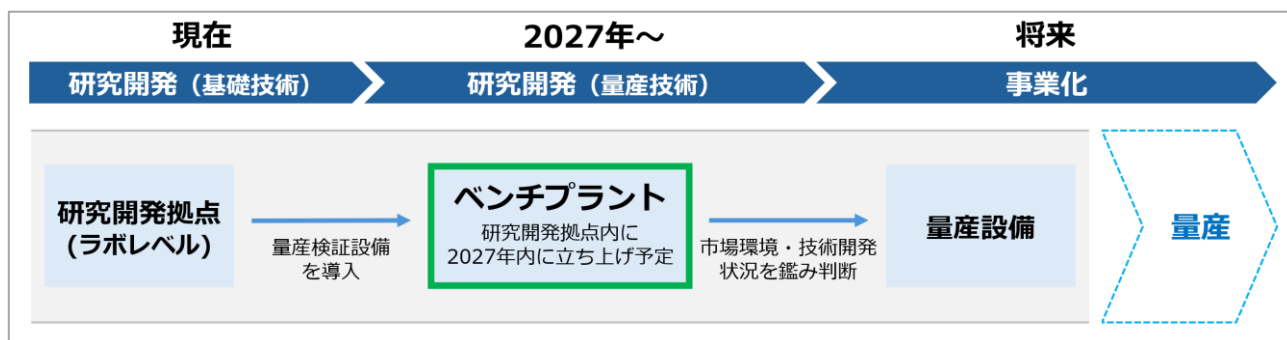
人工衛星の利用拡大による常時接続社会のイメージ

本事業では、宇宙戦略基金の補助金を活用し、以下の技術開発を段階的に進めます。

1. 宇宙用途に適した軽量かつ高効率な CIGS 太陽電池セルの開発およびプロセス技術の開発。
2. 上記で開発するプロセス技術を基盤としたベンチプラントの構築および立ち上げ（設置場所：当社次世代技術研究所（所在地：千葉県袖ヶ浦市）内の研究開発拠点、稼働開始予定：2027年）。
3. 上記ベンチプラントによる連続生産の実証。

今後は市場環境や技術開発の状況を踏まえ、本格的な量産設備の立ち上げを検討し、宇宙用 CIGS 太陽電池の早期事業化を進めます。宇宙用 CIGS 太陽電池の安定供給の実現を通じて、次世代通信インフラの発展や持続可能な宇宙開発に貢献します。

当社は、宇宙用 CIGS 太陽電池を長期的な成長と持続的な価値創出につながる新たな事業の柱として確立し、宇宙産業のサプライチェーンの一翼を担う存在となることを目指します。



事業ロードマップ

#### 【参考】

##### ・ [当社の宇宙用 CIGS 太陽電池](#)

既存の宇宙用太陽電池は、強い放射線による劣化や高コスト、レアメタルの大量使用、製造に時間を要するため生産量が限られるなどの課題があります。一方、当社が開発する宇宙用 CIGS 太陽電池は、高い放射線耐性による長寿命、レアメタルの使用量を抑えられる点に加えて、当社独自の製造技術を活用することで高い生産能力と価格競争力の実現が期待されています。

##### ・ [社員インタビュー（JAXA×当社技術戦略部・次世代技術研究所）](#)

JAXA の新型宇宙補給機「HTV-X1」で実施されている次世代宇宙用太陽電池の実証をテーマに、JAXA 研究者と当社社員が、技術開発の背景や将来の宇宙ビジネスの展望を語りました。

・お知らせ：[宇宙用 CIGS 太陽電池ベンチプラントの投資決定および JAXA「宇宙戦略基金」への採択決定について（2026 年 4 月 22 日）](#)

・プレスリリース：[当社が開発する宇宙用 CIGS 太陽電池が JAXA の新型宇宙ステーション補給機 HTV-X1 の SDX 実証装置に搭載（2025 年 10 月 17 日）](#)

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

[https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease\\_flow/index.html](https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html)